

# 地域連携NEWS



地方独立行政法人  
東京都健康長寿医療センター  
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

## 医療サービス推進課医療連携室 Vol.77 2018年11月発行

〒173-0015  
東京都板橋区栄町35番2号  
TEL03(3964)1141(代表)  
FAX03(3964)1392(連携室)

# 輸血・細胞療法科 血液内科のご紹介



輸血・細胞療法科部長  
血液内科専門部長  
小林 寿美子

THE BIRDS OF THE  
MOUNTAINS

2016年4月より当センターに赴任し輸血・細胞療法科の職責を担っております。平素、板橋区、豊島区、練馬区、北区、荒川区、江戸川区、東武東上線沿線、南埼玉地域の患者さんをご紹介いただき深く感謝申し上げます。

血液内科専門部長との兼務であり、輸血・細胞療法科ならびに血液内科のご紹介をさせていただきます。

- 

輸血・細胞療法科部長  
血液内科専門部長  
小林 寿美子

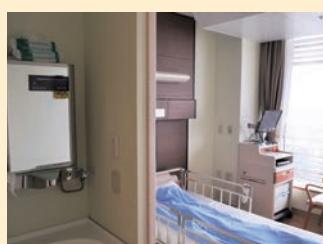
  - 1) 幅広い年齢層への血液疾患、造血器悪性腫瘍に対する同種造血幹細胞移植治療の積極的な受け入れ
  - 2) 高齢者の臍帯血移植はもちろん、赴任後二年半で若年層の白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫、悪性リンパ腫、凝固出血系のご紹介の増加
  - 3) 高齢者におけるハプロ移植 (HLA 不一致血縁) の受け入れ
  - 4) 日本骨髓バンク認定施設に (2017年12月) なり、臍帯血バンク、末梢血幹細胞移植、従来の骨髓バンクの全てを統合した診療科と採取認定施設として機能
  - 5) 悪性リンパ腫、多発性骨髓腫などの自家末梢血幹細胞移植適応を含めた総合的治療介入
  - 6) 術前自己血貯血など外科的手技におけるサポート体制の充実
  - 7) 細胞療法科としてドナーリンパ球輸注、間葉系細胞療法などの実施
  - 8) 日本血液学会、日本造血細胞移植学会、日本輸血細胞治療学会への年一回の発表により常に新しい治療の充実

様々な新規薬剤を充実と工夫により、積極的治療における基盤整備が整っております。センターの特徴である高齢者造血器悪性腫瘍は主軸であります。充実した無菌病棟で、今後はますます若年者患者さんの受け入れを含めて引き続きご紹介を頂けますように連携に努めて参ります。

11階西病棟  
 無菌病棟 36床  
 個室 14床  
 (含 陰圧室2床)  
 3床 2室  
 4床 4室



## 病棟入口の二重ドア



各病室には無菌水手洗器・ヘパフィルタを設置



## ナースステーション内 処置室

予約専用電話	検査予約	医療連携室
<p>外来受診予約専用番号 <b>03(3964)4890</b></p> <p>対応時間 月～金 9:00～17:00</p> <p>当センターは紹介予約制です。 ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。</p>	<p>代表電話番号 <b>03(3964)1141</b></p> <p>対応時間 月～金 9:00～17:00</p> <p>◎CT、MRI、骨密度（内線2171） ◎RI(SPECT、PET検査)（内線2154）</p> <p>検査科にてスムーズな予約対応を行っております。</p>	<p>医療連携についての問い合わせ <b>03(3579)6963</b></p> <p>医療連携室FAX番号 <b>03(3964)1392</b></p> <p>ホームページ：<a href="http://www.tmhig.jp/">http://www.tmhig.jp/</a> (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)</p>

# 神経内科のご紹介



神経内科専門部長  
仙石 錬平

神経内科の疾患は難病が多く、今まで治療法がないと言われていましたが、近年は難病といわれている領域においても有効な治療法が出ております。残念ながら根治的な治療法までは確立しておりませんが、今まで薬の投与すらできなかつた疾患に対して何らかの手を差し伸べられるということは大きな進歩だと思います。特定疾患治療研究事業の対象疾患の中では、潰瘍性大腸炎が最も受給者数が多く、ついでパーキンソン病がつづきます。パーキンソン病は診療ガイドラインの改訂が今年（2018年）行われるなど、その治療法はめざましく進歩しています。主な改訂点としては、エビデンスを重視したガイドラインになっている点がまず挙げられます。ドパミン製剤を主力とし、目の前の患者さんひとりひとりの病状に合わせて（テーラーメイド）他の抗パーキンソン病薬（ドパミンアゴニスト製剤や非ドパミン製剤等）を使用（調整）していくことが非常に重要です。認知症を含む神経疾患の領域において、2017年から2018年にかけて先にあげたパーキンソン病、認知症、てんかん、多発性硬化症、脊髄小脳変性症・多系統萎縮症、単純ヘルペス脳炎とガイドラインが次々と改訂されております。目の前の患者さんの訴え（不随意運動や歩行障害等）に対してお困りのことがございましたら当科にご紹介いただければ、拝見いたします。また、その後も数ヶ月に1度当科に受診していただき、長期的な病診連携を実践していきたいと考えております。

神経変性疾患が疑われる患者さんのご相談だけでなく、何かお困りのことがございましたらご紹介いただければ対応させていただきますのでご連絡ください。今後とも、当センター神経内科をよろしくお願い申し上げます。

## 連携医療機関のご紹介 たじま医院



たじま医院  
理事 石井 宏則



たじま医院  
院長 石井 宏

豊島区池袋2丁目で内科、小児科、婦人科を診療しています「たじま医院」です。当院は地域のかかりつけ医として、昭和28年より診療をはじめ、地域の皆様に育まれ現在に至っております。現在医師3名、看護師4名、事務4名が在籍し毎日切り盛りをしています。

私たちはいつも、目の前の患者さんが自分の大切な家族ならば、どうするかを考えて全人的に診療を行うよう心がけています。

地域柄か、老若男女を問わず様々な病気の方が来院されます。時に、院内では対応困難な場合などは、近隣の他科の診療所の先生方との診診連携や、健康長寿医療センターも含めて病診連携をしながら患者さんを治療しています。

ここで当院の診療についてお話をします。

一般的な内科疾患はすべて診療いたします。予防接種、禁煙外来は随時、週一回は糖尿病外来、食事指導、内視鏡検査を開設しています。また、漢方の処方も積極的に行ってています。小児科は、乳児診察から小児一般診察、予防接種などを行っております。婦人科一般診察のほか、妊娠検診、がん検診やピル処方も対応いたします。

ご存知のように、現代医療では専門化が進んでいます。医学において専門性の追求は重要なことであり、医療の進化にはなくてはならない視点です。一方で海外では家庭医というカテゴリーがあります。患者さんを普段から“全人的に拝見、治療”し、必要に応じて専門性を求める病気については専門の病院に紹介、治療をするという方法です。

医療法人翠宏会  
**たじま医院**

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-61-5  
TEL: 03-3971-0388

診 療 科：内科・小児科・婦人科

休 診 日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

診 療 時 間：

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	
15:00 ~ 18:00	○	○	○		○		

ホーメページ：<http://tajima-clinic.com/>

ア ク セ ス：JR・東京メトロ・東武・西武 池袋駅西口より徒歩6分

当院では、先にも述べましたように、来院された患者さんは自分の家族同様に考え、全人的に診断し治療をすることを心がけています。皆様が安心してお過ごしになれるよう、そして一緒に健康を維持し生活ができるようこれからも一生懸命精進していきたいと思います。